

当院のご案内

地域の安心を第一に考えた病院づくりを目指しています。

看護の日

「看護の日」のイベントを5月12日に開催いたしました。内容は「看護の日」についてのお話、AED実演、血圧測定、看護・介護相談です。

2007年に超高齢社会となった日本にとってこれからの社会を一人ひとりが支えていくためには、だれもお互いを思いやり、ケアや看護に関心と理解を深めていただければと願います。そして家庭や地域、職場でその心が育めるようなイベントに、今後も積極的に取り組んでいきたいと考えています。



当院理念

- 1 地域のみならずから信頼され、地域社会に貢献できる医療機関を目指します。
- 2 救急医療から慢性期医療に至るまで、質の良い、専門的医療を実践します。
- 3 患者さんの立場に立った、優しい、快適な環境を提供します。

外来診療担当表

		月	火	水	木	金	土
午前	外科系診療	院長 北川	院長 平池	院長 山本	院長 平池	院長 北川	交代制
	内科系診療	山本	才善	土田	山本	土田	
午後	外科系診療	平池	山本	北川	北川	平池	
	内科系診療	才善	土田	才善	土田	才善	

※一部変更になる場合がございます。

診療科目

外科・内科・消化器外科・消化器内科・呼吸器内科・救急科・整形外科・肛門外科・内分泌外科・循環器内科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科

病床数

一般病室
35床(全室個室)
療養病床
99床(完全型)

診療時間

平日	土曜	日・祝日休診
午前9時 午後6時	午前9時 午後0時30分	

地域医療連携室のご案内

専任の医療ソーシャルワーカー(社会福祉士)があり、入院前および入院中における様々な調整や心配事などのご相談に応じております。お気軽にご来室ください。

地域連携 他医療機関ならびに区役所、各関係施設などとの連携窓口となり、入院のご相談から様々な情報連絡、各種手続きなどをおこないます。

医療相談 経済的な問題から各種制度説明、介護保険のサービス紹介や福祉施設紹介など、お悩みになっている問題に対して、幅広くご相談をお受けいたします。また、お電話でも構いません。

相談受付時間：午前9時から午後5時まで(月～金)



医療法人社団
土田病院
TSUCHIDA HOSPITAL

札幌市1次・2次救急指定病院

札幌市中央区南21条西9丁目2-11

TEL 011-531-7013

http://www.tsuchida.or.jp



■市電「東屯田通り」下車 徒歩1分
■定鉄バス「南21条西11丁目」下車 徒歩5分

第11号 2009年7月発行



土田病院ニュース

ちっちゃな畑でも

診療技術部長 今 欣逸

産地偽造や毒入り餃子、汚染米など毎年、食べ物に関する疑惑騒動が絶えません。食の安全やら食育などと言われても、少し時間が経つと、安価に惑わされ、産地や中身を気にしない私たちがいます。そんな姿を次の世代に見せてはと心配になります。

私は車1台分ほどのちっちゃな畑を作っています。そんな小さな畑でも毎年、トマトやナス、キュウリなど10種類以上の野菜が芽を出し、我が家に確かな季節と旬の味わいを食卓に届けてくれます。季節感なく店頭で野菜が並ぶ昨今、「その時期にとれる野菜だからおいしいんだ」と偉そうに子供には教えておいてはいたのですが、作り方や育て方も我流というか放任主義。近所に住む両親に消石灰の使い方や畝の作り方を教わったりと全くの素人なのです。それでもちゃんと育ち、収穫の喜びを与えてくれます。

そんな放任主義の畑作りを見るにみかねてか、両親が草取りなどをしてくれている姿を見る時、昔見ていたなあ、この背中……と想うのです。二日中、汗をかきながら、こうしてもくもくと働いていたなあ、今の自分と比べてみる時があります。でもなんだか嬉しくなる自分もいるのです。若い頃は畑作りなど考えなかったのに、私も少しずつ親と同じ道を進んでいるのかなあと。

ナスは咲いた花の数だけ必ず実をつけます。それに例えて親の言葉とすびの花は千にひとつの狂いなしと言ったもんだと畑で笑顔で話す親も、段々と動けなくなり、介護の必要もでてくるでしょう。でも私は老いた祖父の面倒を見ながら、懸命に働いてきた親の背中もまた見て知っています。これから私もまた、そんな自分の背中を子供に見せていくのでしょうか……。

土の匂いは懐かしい昔の記憶を呼び起こし、こんなちっちゃな畑でも収穫の喜びと共に、時代を繋ぐたしかな思いを与えてくれている気がします。

本当は怖い腹痛（はらいた）

医療法人社団 土田病院
外科 平池 則雄

「腹痛（はらいた）」は最も多い症状の一つですが、最も気を使うものの一つでもあります。腹痛を起こす病気はさまざまですが、放置しておいても自然に治るものもあれば、診断が遅れると生命の危険につながるような重症な病気もあり、気を抜くことができません。

ちょっとした腹痛、下痢などの症状で2～3日で回復するものは「おなかをこわす」といって、誰にでもあることでしょう。一方、「腹膜炎」という病名がつく状態は、おなかの中で炎症が起き、時に「膿」が貯まる病気です。代表的な病気では、急性虫垂炎や消化管の穿孔などがあります。この範疇の病気は命に関わります。

痛みがある「場所」や「症状」によって、およその病名が推測できることもあります。腹部の痛みは「放散痛」や「連関痛」といって、病変部以外のところで感じることも多く最終判断は医師に任せた方が無難です。

腹痛の状態を誤解の無いようにはっきりと伝えるためには、

- (1) どこが痛いか（痛みは移動するか）
 - (2) いつから痛いか（前触れはあったか）
 - (3) どんなときに痛いか、あるいは、1日でいちばん痛い時間はいつか（食事の前後はどうか）
 - (4) どんな痛みか（さしこむような痛み、針で刺すような痛み、脈打つような痛み……）
 - (5) 痛みにとまってどんな症状が起きたか（熱、吐き気、尿の状態、血尿かどうか、尿量が多いか少ないか、便の状態、便秘か下痢かなど）
- などの状態をお話いただくと、大変ありがたいです。

1. 急性の腹痛

急に起きた腹痛で、場合によっては生命に関わる腹痛を「急性腹症」といいます。突然、激しい痛みにおそわれます。続いて、嘔吐、冷や汗、高熱、顔面が蒼白になる、などの症状があらわれます。これはすぐに検査をし、場合によっては手術が必要です。このような時には、迷わず救急車を呼んでください。ショック状態（血圧が下がってしまうこと）に陥っていて、意識が低下しているようなら、本当に急がないと、生命に危険が及ぶからです。

腹膜は、お腹の臓器を包んでいる袋状の膜。ここに炎症が起ると、腹膜炎になります。急性腹症の代表的なものは、お腹にある臓器が破れてしまうことで起こる急性腹膜炎です。虫垂炎、十二指腸潰瘍、胆嚢痛、急性膵炎、膵臓痛、胃痛、大腸痛などにより、腸や胆嚢、膵臓などが破れてしまうのです。また、女性の場合は、卵巣嚢腫や卵巣の茎部がねじれて急性腹症を起こすこともあります。また、狭心症、心筋梗塞、肺炎など、腹部以外のトラブルが原因となることもあります。

こういう時は急いで診断しなければいけないので、採血や検尿、X線写真、CTやエコーなどの画像診断を行い、腹痛の原因を探ります。この段階で、直ちに手術が必要なのか、点滴や薬物である程度様子を見ることができるとかを決定します。もちろん、時間を追うごとに状態の変化があり得るので、短い時間間隔で判断します。方針が変わることもあり得ます。

2. 慢性の腹痛

正確には慢性の腹痛という名称はありませんが、ここでは数日以上持続する腹痛と考えます。急性の腹痛のように我慢ができない激しい腹痛ではありませんが、さまざまな程度に持続する腹痛にはいろいろな原因が含まれるために注意が必要です。

急性の腹痛の場合と違い、慢性の腹痛にはとくに多数の原因が考えられるために一つ一つの病気について詳しく述べることは困難です。しかし逆に特別な病気がなく痛みを感じることも実際には多いのです。腹部をさわるだけの簡単な診察だけでは正確な診断は困難と痛感させられます。必要に応じて腹部超音波検査、胃内視鏡、大腸内視鏡、腹部CTなどの検査を駆使しながら診断を進めていく必要があります。

いくつか症状の例を挙げてみましょう。

【症状1】

空腹の時に、みぞおちが痛くなる

『可能性のある疾患』

空腹時にお腹が痛いという症状は、胃の下部の胃潰瘍、十二指腸潰瘍を疑います。食事中・食後の痛みは、食道炎、急性胃炎、急性膵炎、過敏性大腸炎など。食後2～3時間後に痛む場合は、胃潰瘍や十二指腸潰瘍、慢性胃炎など。中年以上の方は、年に1回は胃の検査を受けるようにしましょう。

【症状2】

食欲不振で、食事の好みも変わってきた

『可能性のある疾患』

胃が重い、張る、どことなく違和感があり、不快である。同時に、胸焼けなどの自覚がないのにもかかわらず、口臭があり、あくびが出る。これらの症状は、胃炎、胃潰瘍に共通してみられるものですが、胃癌の早期の症状もこれと似ています。

【症状3】

吐き気といっしょにお腹も痛む

『可能性のある疾患』

腹痛の箇所、痛みの種類（さしこむような痛みか、キリキリと痛むのか、持続する痛みかそうではないか、など）、またそれに伴う症状によって違います。食中毒、胃炎、胃潰瘍、幽門狭窄、膵臓痛、慢性腹膜炎、急性肝炎、肝臓痛、肝硬変、横隔膜下膿瘍、胆嚢結石、総胆管結石などを一応、疑ってみる必要があります。

【症状4】

脂っこいものを食べると、右の上腹部が痛く、背中のおうまで痛む

『可能性のある疾患』

激痛、吐き気、嘔吐、発熱を伴うようなら、急性胆嚢炎、胆石の疑いがあります。

【症状5】

コーラのような黒いウンチが出る

『可能性のある疾患』

胃潰瘍、十二指腸潰瘍、あるいは胃癌の可能性もあります。胃や十二指腸から出血すると真っ黒な便になります。一方、大腸や直腸、肛門、痔からの出血は鮮血便になることもあります。

【症状6】

急にお腹が痛くなる。とくにみぞおちが痛い。背中が痛い。痛みが長びく。飲んだり食べたりするたびに痛い。吐き気がするのに吐いてもおさまらない。

『可能性のある疾患』

急性膵炎の疑いがありますが、そのほかの検査も必要です。狭心症でも同じような症状が出ることもあります。

腹痛は、本当は怖い病気です。あまりにも症状がつらいときは、いつでも病院を受診しましょう。

高齢者の骨折と予防対策

診療技術部長 今 欣逸



毎月、当院で開催している健康セミナー、6月は上記タイトルで行ないました。

高齢者の骨折の特徴ともいえる4大部位の骨折画像を中心に、その原因として挙げられる骨粗鬆症の内容と食事を含めた対策、運動の必要性、ご本人の注意点、周囲やご家族の協力ポイントについてお話しさせていただきました。

高齢者になるに従い、骨折現場は家の中というのが多くの割合を占めていきます。お家の中でのちょっとした気配りをしておくだけで防げることも多々あります。いくらバリアフリーのお家でも高齢者にとってはふとん、電気コード、新聞紙なども段差の一つになるのです。

そして、高齢者の骨折は寝たきりやボケの原因になっていく危険性があり、それによって介護が必要になるとご家族や周囲の方々まで巻き込んでしまいます。

健康で元気な老後のためには元気なうちからの注意や努力も必要となります。参考資料をご希望の方は当院外来受付までどうぞ！



健康セミナー

会場はいずれも土田病院内会議室です。

専門の医師およびパラメディカルが分かりやすく解説します。ぜひお越しください。

7月
第39回

◆日 時：平成21年7月28日(火)
午後2時より
◆演 者：理学療法科 理学療法士
矢本宏治

8月
第40回

◆日 時：平成21年8月25日(火)
午後2時より
◆演 者：医事課

9月
第41回

◆日 時：平成21年9月29日(火)
午後2時より
◆演 者：医局 医師

特定検診やメタボ検診、各種検診受付中！

当院では、特定検診やメタボ検診、肺癌検診を専門医が直接おこなっております。また、各種検診についても専門医が責任を持って、随時おこなっております。ぜひ、ご相談ください。

専門外来のお知らせ

●睡眠時無呼吸症候群外来

月曜日、水曜日、木曜日の午後

●PEG・PTEG（胃ろう）外来

木曜日の午後

●消化器（肝臓）専門外来

第2・4木曜日の午後（13:00～17:00）

いずれも、保険適応となりますので、お気軽にご相談ください。